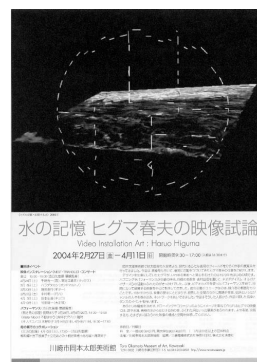


水の記憶 ヒグマ春夫の映像試論 展

会 期	2004 年 2 月 27 日～2004 年 4 月 11 日
開催日数	39 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
協 賛	三菱電機株式会社神奈川支社、株式会社清康社
観 覧 料	一般 800(640)円、高・大学生 600(480)円 ()内は 20 名以上の団体料金
入場者数	11,613 名
1 日平均	298 名
図 録	B5、16p
ポスター	B2
チラシ	A4
出品点数	6 点
担 当 者	佐藤玲子、大杉浩司



図録



チラシ

[開催趣旨]

太郎賞の入選者より選んだ、現代に新たな表現のフィールドをひらく作家の展覧会の第 4 回目。今回は、映像を用いて着実に活動を続けてきたヒグマ春夫の仕事を紹介した。1970 年代はじめ、ネオダダイズム・オルガナイザーなどの活動にふれたのをきっかけにデザインから美術へと関心を向けたヒグマは、時間軸に展開する映像作品を中心に制作を続けてきた。81 年からは映像を単に提示するだけに留まらず、その空間に舞踊や音楽、批評も含めたさまざまな人々を巻き込みながらネットワークを紡いできたように、ヒグマの活動のユニークさは、媒介者の側面を持つことにある。今回はその中から、作品に即した音楽とダンスのイベントもあわせて行った。

[主要関連記事]

- ・「水の記憶 ヒグマ春夫の映像試論」『ギャラリー』2004.4.1
- ・「アートスケジュール:川崎市岡本太郎美術館 水の記憶 ヒグマ春夫の映像試論」『横浜ウォーカー』2004.3.16
- ・「催事情報:水の記憶 ヒグマ春夫の映像試論」『サイン&ディスプレイ』2004.3.10
- ・「川崎市岡本太郎美術館:「水の記憶 ヒグマ春夫の映像試論」 / 第 7 回岡本太郎記念現代芸術大賞展」『etc.』2004.3.25

[関連事業]

[]内は参加数

「水の記憶 ヒグマ春夫の映像試論」展関連イベント

映像インスタレーション《NEST TRIANGLE》・コンサート

時 間 各日 15:00～16:00

2月28日(土) 千野秀一(音)、寒河江勇志
(サクセス)[30名]

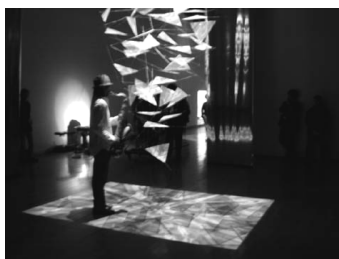
3月20日(土) 増田直行(ギター) [43名]

3月27日(土) 中村朋一(尺八)[42名]

3月6日(土) ハラダタカシ(オンドマルトノ)
[48名]

4月3日(土) 坂本弘道(チェロ)[60名]

4月10日(土) 竹田賢一(大正琴)[60名]



千野秀一+寒河勇志



ハラダタカシ



増田直行



中村朋一



坂本弘道



竹田賢一

内 容 《NEST・TRIANGLE》の空間における、作品にあわせた曲目によるコンサート。
場 所 企画展示室
料 金 無料(入館料のみ)

《覗き見の部屋》

開 催 日 2月28日(土)、3月6日(土)、3月20日(土) (共に14:00-15:00)

演 者 昆野まり子

内 容 映像インスタレーションの一部としての
パフォーマンス

場 所 企画展示室

料 金 無料(入館料のみ)



《Water Moon》

開催日 2月28日(土)、3月16日(火)、4月11日(日)
内容 映像インスタレーションの一部としての
身体オブジェ・パフォーマンス
場所 企画展示室
演者 不動まゆ
料金 無料(入館料のみ)



《キノハコノコ》

開催日 3月14日(日)、3月21日(日)、4月4日(日)、4月11日(日)
(共に 16:00~17:00)
内容 映像インスタレーションの一部としての
パフォーマンス
場所 企画展示室
演者 木野彩子
料金 無料(入館料のみ)



《ミズの記憶》

開催日 4月10日(土) (17:00-)
演者 柳和暢, 宮下恵美子, 立花あさみ, 桐谷果甫,
北村誠, 海津晃子
参加数 約150名
内容 母の塔下での、美術+ダンス+音+映像のコラボレーション
場所 母の塔
料金 無料



[出品リスト]

No.	作品名	制作年	技法・材質
1	《ミズの記憶・記憶する水》	2004 年	インスタレーション ビデオ、紗幕、プラスチック、水、ガラス瓶、写真
2	《NEST・TRIANGLE》	2004 年	インスタレーション ビデオ、ハーフミラー、針金、寒冷紗、水系
3	《WATER MOON》	1999 - 2004 年	インスタレーション DVD、プラスチック、寒冷紗、水、アクリル、鉄
4	《キノハコノコ》	2004 年	インスタレーション、DVD、スチール製ロッカー
5	《DIFFERENCE》	2001 年	インスタレーション、ビデオ、寒冷紗
6	《覗き見の部屋》	2003 年	インスタレーション、ビデオ、寒冷紗